

令和4年度学校評価アンケートの分析と改善策

滋賀県立虎姫高等学校

分析	高い評価（A評価）	課題のある部分				
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特色ある学校作り ・ いじめのない学校づくり ・ きめ細かい面談指導や適切な情報提供 ・ 事故・怪我等への迅速な対応 ・ 組織的・計画的な人権教育の推進 ・ 授業改善と主体的・探求的学びの提供 ・ 進路指導と補習講座の充実 ・ HR活動や学校行事の工夫 ・ 明るく生き生きと生活できるクラス作り ・ 学ぶ意欲を高める高大連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遅刻や服装・頭髪、挨拶の指導など基本的な生活習慣に係る指導 ・ 交通マナー等、社会規範やルールを守り、思いやりのある行動のとれる生徒の育成 				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center; vertical-align: middle;">特色</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ SSHおよび国際バカロレア・ディプロマプログラムの実施 ・ 定期的な面談週間の実施による面談の充実と個別指導を含む学習指導 ・ 全校的な探究的な授業への改善の取り組み ・ 高大連携の充実 ・ 生徒主体の学校行事の運営 </td> </tr> </table>	特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ SSHおよび国際バカロレア・ディプロマプログラムの実施 ・ 定期的な面談週間の実施による面談の充実と個別指導を含む学習指導 ・ 全校的な探究的な授業への改善の取り組み ・ 高大連携の充実 ・ 生徒主体の学校行事の運営 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center; vertical-align: middle;">課題</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ対策であいまいになった防寒具の着用ルールなど服装指導について ・ 交通マナーの向上について </td> </tr> </table>	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ対策であいまいになった防寒具の着用ルールなど服装指導について ・ 交通マナーの向上について
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ SSHおよび国際バカロレア・ディプロマプログラムの実施 ・ 定期的な面談週間の実施による面談の充実と個別指導を含む学習指導 ・ 全校的な探究的な授業への改善の取り組み ・ 高大連携の充実 ・ 生徒主体の学校行事の運営 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ対策であいまいになった防寒具の着用ルールなど服装指導について ・ 交通マナーの向上について 					
保護者・関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通マナーやスマホ・SNSの利用マナー、社会のルールを守る姿勢 ・ いじめや人間関係のトラブルなどを心配せず安心して学校に通っている ・ 学校行事やクラス活動などに意欲的に参加している ・ 健康管理に気を付けている ・ 明るく生き生きと充実した学校生活を送っている ・ 職員の対応が丁寧 ・ 人権を大切にする姿勢が身についている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的な図書館利用 ・ 普段の掃除や整理整頓など、身の回りを美しくする姿勢 ・ スーパーサイエンスハイスクールやサマーセミナー等における大学での学びによる学習意欲や進路意識の高まり 				
生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒に寄り添った相談体制 ・ 各種補習や休日学習会など学びの充実した環境の提供 ・ 丁寧な個人面談や進路相談 ・ 生徒会による文化祭・体育祭等の行事の自主的な運営 ・ 将来の働く意義等を考える機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ SSH・高大連携事業の生徒の学習意欲や学力向上へのつながり ・ 国際バカロレア教育の浸透 ・ 校内美化の活動 				
分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体として生徒・保護者等関係者・教職員による評価は、項目により多少の差はあるもののおおむね高く、教職員が学校の教育目標を常に意識しながら教育活動にあたっていること、またそれに基づく本校の取り組みが一定理解されていることが高評価につながっていると思われる。 ・ 本校の特色であるSSHやIBに関する項目では、教員の自己評価が高い一方で、生徒・保護者の評価はそれほど高くなく、今後のより一層の改善が求められる。 ・ 共通して評価が高かったのは、充実した個人面談や相談体制に係る項目で、結果的に安心して生き生きとした学校生活を送っている生徒の割合の高さにつながっているものと思われる。 ・ 校内美化を含めて、身の回りを美しくする姿勢については、生徒・保護者とも共通して評価が低い項目となっており、基本的な生活習慣の改善と合わせて、学校と家庭が協力して取り組んでいく必要がある。 					